

研究等成果報告書

研究費の区分	基盤研究費・学部等研究費・全学研究費 種目：学部等研究費
研究課題	コミュニケーションの教育法に関する実践的研究
学部等・職・氏名	共通教育センター 教授 ウヴェ・リヒタ
研究成果の概要	<p>0. 2008年夏開催のサマーコースについては既に報告済み</p> <p>1. 行われた講座 A 日程. 10月1日から1月29日まで B 日程. 3月16日から3月27日まで</p> <p>2. 講師 Paul Langman</p> <p>・ A 日程 当初は毎週月～金曜日の週5回開催の予定だったが、参加者の不足や都合があり火曜日と水曜日の開講をキャンセルし、代替措置として土曜日の9時～12時までの週4回の開催に変更になった。参加者は月曜日に3人、木曜日2人、金曜日4人、土曜日4人であった。講座内容は「基礎的英語会話」。基本的な質問と回答の仕方、食べ物、飲み物、趣味など日常生活に関する重要な分野の英会話を教授した。</p> <p>・ B 日程 内容は国際結婚、老人介護、科学技術と社会について英語で教授。 参加者は毎回3～4人。</p> <p>Alan Farr</p> <p>・ A 日程 参加者は毎回3～4人程度。 講座内容は映画を鑑賞し、それをベースにして議論を行うもの。 教材として取り上げた映画は「人情紙風船」「トニー・タキタニ」「母べえ」「未完の対局」の4本。</p> <p>・ B 日程 「The cats of Mirikitami」「Cure」「The Hours」の3本の映画を取り上げた。</p>

	<p>参加者は毎回 3～4 人。</p> <p>Patrick L. Sledge (A 日程のみ)</p> <p>講座の開講は火曜日の 10：30～12：00、13：00～14：30. 講座への参加人数は参加人数は最初の講座で 2 人。それ以降は毎回 6 人。</p> <p>講座内容は「ゴスペル音楽で英語を勉強する」。</p> <p>12 月 6 日に三沢から 15 人のゴスペルコーラスを呼び、ゴスペルのコンサートを開催した。場所は本学共通講義棟 101 号室。三沢からの 15 人と、その日観覧に来た参加者（県立大学から 15 人、県民 35 人）は一緒にゴスペルを歌う機会もあった。</p> <p>3. PR 活動</p> <p>a) 9 月 26 日にパンフレット 1 を食堂前、掲示板などで配布や掲示を行った。</p> <p>b) 9 月初旬ころから音楽系サークルの代表者に連絡し Patrick 氏の講座への参加を呼びかけた。</p> <p>c) 10 月 21 日に再びパンフレット 2 を食堂前で配布。</p> <p>d) 12 月 6 日のゴスペルコーラスについて県立大学内各地でビラを配布した。</p> <p>e) 2 月初旬から 3 月中旬まで改めて 3 人の講座への参加者などに B 日程の講座への参加を呼びかけた。</p>
<p>目標の達成状況</p>	<p>PR をしたが、講座への参加者は思ったほどいなかった。</p> <p>考えられる理由は 3 つ。</p> <p>a) 開講時間帯が 8：50～と早かった</p> <p>b) A 日程、B 日程共に単位付与科目ではなかった</p> <p>c) アルバイトや就職活動、旅行、帰国などの時期と重なる日程があった</p> <p>結論</p> <p>卒業要件に「一定の英語力」という基準が存在しなければ学生の英語講座参加への動機付けができない。その状況下で本研究プロジェクトの 2 年目以降の継続は意味がない。</p>
<p>成果発表等</p>	

注 学会発表論文等の成果発表資料を添付すること。(成果発表資料がない場合は、研究実施レポートを添付すること)